

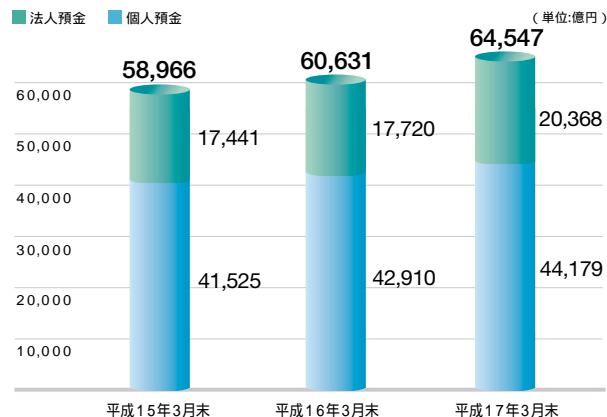
預金の状況

預金残高(期末残高)

預金は、流動性預金が引き続き順調に推移したことにより、前年比3,916億円増加して期末残高は6兆4,547億円となりました。

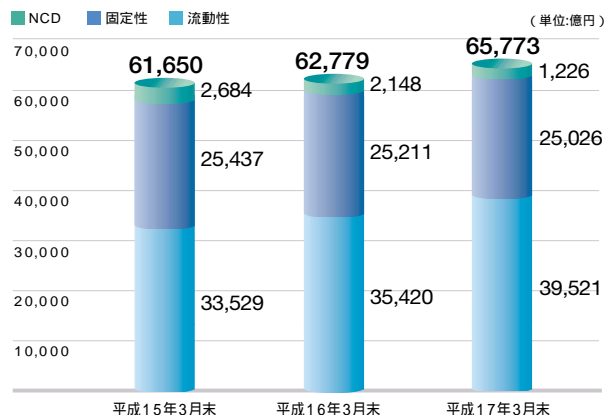
個人預金は、前年比1,269億円増加し4兆4,179億円、法人預金も前年比2,648億円増加し2兆368億円となりました。

法人預金には、公金預金及び金融機関預金を含んでいます。



総資金(期末残高)

預金残高に譲渡性預金(NCD)を加えた総資金ベースにつきましても、前年比2,994億円増加し6兆5,773億円となりました。



資産運用商品の状況

個人預かり資産残高(期末残高)

お客さまの多様化する資産運用ニーズに積極的にお応えしました結果、資産運用商品(投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債)の販売は順調に拡大しています。個人預かり資産の残高は、前年比1,801億円増加し4,532億円となり、また、個人預金に対する割合も同3.9%上昇し、10.26%となりました。

